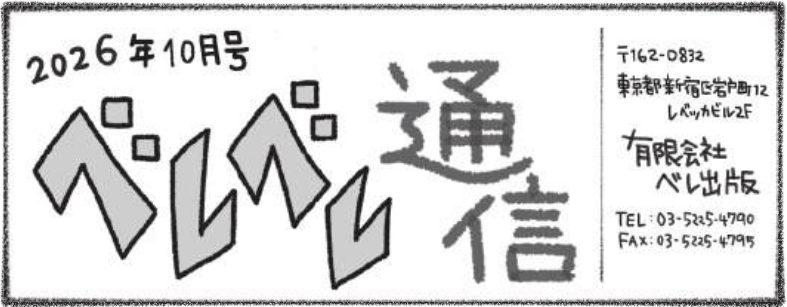


ノーベル文学賞の 歴代受賞者をまとめてみました

ノーベル文学賞は、1901年に創設され、文学の分野で優れた業績を残した作家に贈られる世界最高峰の文学賞の一つです。これまでに受賞した作家は、共同受賞を含めて延べ122名。小説家だけでなく、詩人や劇作家、思想家、さらには政治家やミュージシャンなど、多彩な顔ぶれが名を連ねています。今回は1901年から2025年までの歴代受賞者を代表作とともに一覧でまとめました。知っている作家や作品を探しながら、世界文学125年の歩みを振り返ってみてはいかがでしょうか。



1901-1925				
受賞年	国	受賞者	代表作	
1901	FRA	シュリ・プリュドム	『孤独』	
1902	DEU	モムゼン	『ローマ史』	
1903	NOR	ビョルンソン	『アルネ』	
1904	FRA	ミストラル	『ミレイユ』	
1904	ESP	エチェガライ	『恐ろしき媒』	
1905	POL	シェンキェヴィチ	『クオ・ヴァディス』	
1906	ITA	カルドッチ	『新韻集』	
1907	GBR	キップリング	『ジャングル・ブック』	
1908	DEU	オイケン	『人生の意味と価値』	
1909	SWE	ラーゲルレーヴ	『ニルスのおしぎな旅』	
1910	DEU	ハイゼ	『ラビアータ』	
1911	BEL	メーテルリンク	『青い鳥』	
1912	DEU	ハウプトマン	『織工』	
1913	IND	タゴール	『ギタンジャリ』	
1914	—	—	授賞なし (第一次世界大戦の影響)	
1915	FRA	ロマン・ロラン	『ジャン・クリストフ』	
1916	SWE	ヘイデンスタム	『ハンス・アリエヌス』	
1917	DNK	ギェレルプ	『巡礼カマンタ』	
1917	DNK	ポントピダン	『死者の国』	
1918	—	—	授賞なし (第一次世界大戦の影響)	
1919	CHE	シュビッテラー	『少女嫌ひ』	
1920	NOR	ハムスン	『土の恵み』	
1921	FRA	アナートル・フランス	『舞姫タイス』	
1922	ESP	ベナベンテ	戯曲	
1923	IRL	イェイツ	『塔』	
1924	POL	レイモント	『農民』	
1925	IRL	G・B・ショー	『ピグマリオン』	

1926-1950				
受賞年	国	受賞者	代表作	
1926	ITA	デレッダ	『風にそよぐ葦』	
1927	FRA	ベルクソン	『物質と記憶』	
1928	NOR	ウンセット	『クリスティン』	
1929	DEU	トーマス・マン	『魔の山』	
1930	USA	シンクレア・ルイス	『妖聖ガントリー』	
1931	SWE	カールフェルト	『カールフェルト詩抄』	
1932	GBR	ゴールズワージー	『フォーサイト家物語』	
1933	RUS	プーニン	『アルセーニエフの生涯』	
1934	ITA	ピランデルロ	『作者を探す六人の登場人物』	
1935	—	—	授賞なし (該当者なし)	
1936	USA	オニール	『楡の木陰の欲望』	
1937	FRA	デュ・ガール	『チボー家の人々』	
1938	USA	パール・バック	『大地』	
1939	FIN	シランペー	『若くして逝きし者』	
1940	—	—	授賞なし (第二次世界大戦の影響)	
1941	—	—	授賞なし (第二次世界大戦の影響)	
1942	—	—	授賞なし (第二次世界大戦の影響)	
1943	—	—	授賞なし (第二次世界大戦の影響)	
1944	DNK	イェンセン	『王の没落』	
1945	CHL	ミストラル	『死のソネット』	
1946	CHE	ヘッセ	『車輪の下』	
1947	FRA	ジッド	『狭き門』	
1948	GBR	T・S・エリオット	『荒地』	
1949	USA	フォークナー	『響きと怒り』	
1950	GBR	ラッセル	『幸福論』	

1951-1975				
受賞年	国	受賞者	代表作	
1951	SWE	ラーゲルクヴィスト	『パラバ』	
1952	FRA	モーリヤック	『テレーズ・デスケルウ』	
1953	GBR	チャーチル	『第二次世界大戦』	
1954	USA	ヘミングウェイ	『老人と海』	
1955	ISL	ラクスネス	『独立の民』	
1956	ESP	ヒメネス	『ブラテロとわたし』	
1957	FRA	カミュ	『異邦人』	
1958	RUS	パステルナーク	『ドクトル・ジバゴ』	
1959	ITA	クアジーモド	『そしてすぐに日が暮れる』	
1960	FRA	サン＝ジョン・ペルス	『遠征』	
1961	BIH	アンドリッチ	『ドリナの橋』	
1962	USA	スタインベック	『怒りの葡萄』	
1963	GRC	セフェリス	『セフェリス詩抄』	
1964	FRA	サルトル	『嘔吐』	
1965	RUS	ショエロホフ	『静かなドン』	
1966	ISR	アグノン	『捨てられた妻たち』	
1966	DEU	ネリー・ザックス	『イスラエルの受難』	
1967	GTM	アストゥリアス	『大統領閣下』	
1968	JPN	川端康成	『雪国』	
1969	IRL	ベケット	『ゴドーを待ちながら』	
1970	RUS	ソルジェニーツィン	『収容所群島』	
1971	CHL	ネルーダ	『二十の愛の詩と一つの絶望の歌』	
1972	DEU	ハインリヒ・ベル	『カタリーナ・ブルームの失われた名誉』	
1973	AUS	パトリック・ホワイ特	『ヴォス』	
1974	SWE	ユーンソン	『ユーンソン短編』	
1974	SWE	マーティンソン	『アニアーラ』	
1975	ITA	モンターレ	『イタリアの詩人たち』	

1976-2000				
受賞年	国	受賞者	代表作	
1976	USA	ソール・ペロー	『この日をつかめ』	
1977	ESP	アレイクサンドレ	『ロルカと二七世代の詩人たち』	
1978	USA	シンガー	『ゴライの悪魔』	
1979	GRC	エリティス	『オディッセアス・エリティス詩集』	
1980	POL	ミウォシュ	『囚われの魂』	
1981	GBR	カネッティ	『群衆と権力』	
1982	COL	ガルシア＝マルケス	『百年の孤独』	
1983	GBR	ゴールディング	『蠅の王』	
1984	CZE	サイフェルト	『マミンカ』	
1985	FRA	クロード・シモン	『フランドルへの道』	
1986	NGA	ショインカ	『死と王の先導者』	
1987	USA	プロツキー	『ヴェネツィア水の迷宮の夢』	
1988	EGY	マフフーズ	『バイナル・カスライン』	
1989	ESP	セラ	『パスクアル・ドゥアルテの家族』	
1990	MEX	オクタビオ・パス	『孤独の迷宮』	
1991	ZAF	ゴードィマ	『バーガーの娘』	
1992	LCA	ウォルコット	『オデッセイ』	
1993	USA	トニ＝モリスン	『ソロモンの歌』	
1994	JPN	大江健三郎	『個人的な体験』	
1995	IRL	ヒーニー	『ナチュラリストの死』	
1996	POL	シンボルスカ	『終わりと始まり』	
1997	ITA	ダリオ＝フォ	『払えないの？払わないのよ！』	
1998	PRT	サラマーゴ	『白の闇』	
1999	DEU	ギュンター＝グラス	『ブリキの太鼓』	
2000	CHN	高行健	『靈山』	

2001-2025				
受賞年	国	受賞者	代表作	
2001	GBR	ナイポール	『ビスワス氏の家』	
2002	HUN	ケルテース	『運命ではなく』	
2003	ZAF	クツェー	『恥辱』	
2004	AUT	イエリネク	『ピアノリスト』	
2005	GBR	ハロルド＝ピンター	『管理人』	
2006	TUR	オルハン＝パムク	『私の名は紅』	
2007	GBR	ドリス＝レスリング	『黄金のノート』	
2008	FRA	ル＝クレジオ	『砂漠』	
2009	DEU	ヘルタ＝ミューラー	『狙われたキツネ』	
2010	PER	バルガス＝リョサ	『都会と犬ども』	
2011	SWE	トランストロメル	『悲しみのゴンドラ』	
2012	CHN	莫言	『酒国』	
2013	CAN	アリス＝マンロー	『木星の月』	
2014	FRA	モディアノ	『暗いプティック通り』	
2015	BLR	アレクシエーヴィチ	『戦争は女の顔をしていない』	
2016	USA	ボブ＝ディラン	『風に吹かれて』	
2017	GBR	カズオ＝イシグロ	『日の名残里』	
2018	POL	トカルチュク	『逃亡派』	
2019	AUT	ハントケ	『ゴールキーパーの不安』	
2020	USA	ルイーゼ＝グリュック	『野生のアイリス』	
2021	GBR	グルナ	『楽園』	
2022	FRA	アニー＝エルノー	『シンプルな情熱』	
2023	NOR	ヨン＝フォッセ	『だれか、来る』	
2024	KOR	ハン＝ガン	『菜食主義者』	
2025	HUN	クラスナホルカイ	『サタンタンゴ』	

日本人受賞者は2人

日本人でノーベル文学賞を受賞した作家は、現在までに2人です。

1968年 川端康成

『雪国』『伊豆の踊子』などで知られる川端康成は、日本の美意識や伝統文化を背景にした繊細な文学表現が高く評価され、日本人として初めての受賞者となりました。

1994年 大江健三郎

『個人的な体験』『万延元年のフットボール』などで知られる大江健三郎は、現代に生きる人間の在り方を深く問い続けた作品が評価され、日本人として2人目の受賞者となりました。



受賞したのに、辞退した作家

受賞者の中には、自ら受賞を辞退した作家が1人だけいます。それが1964年受賞のジャン＝ポール＝サルトルです。哲学者・作家として知られるサルトルは、自身の持つ哲学的信念から、賞の受け取りを拒否しました。また1958年のボリス＝レオニードヴィチ＝パステルナークのように、政治的圧力により、辞退に追い込まれたという事例もあります。なお、本人が辞退した場合でも、ノーベル賞の受賞者として記録されています。



文学賞なのに？ 意外な受賞者たち

小説家というイメージからは少し離れた受賞者もいます。

ウィンストン・チャーチル (1953年)

イギリスの政治家として有名ですが、歴史や演説などの文章表現が評価され受賞しました。

バートランド・ラッセル (1950年)

哲学者・数学者として知られていますが、文学的な評論活動が評価されました。

ボブ＝ディラン (2016年)

歌詞による詩的表現が評価され、ミュージシャンとして初めてノーベル文学賞を受賞しました。



11月新刊インフォメーション

ご注文は
同封の注文書にて
お願い致します。

【音声 DL 付】最速で合格へと導く 英検準 1 級頻出単語熟語

●佐野 健吾／花野 幸子 ●四六並製 本体1,800円
●978-4-86064-843-5

「最小エネルギーで最大の成果を生む!」と好評の英検対策単語熟語集、待望の準 1 級版です。最小限の時間と努力で効率よく単語熟語を身につけられるよう、収録語数を約 1,700 語に厳選しました。表現例には、あえて長い例文ではなく 10 語程度の短い虫食いコロケーションを採用。さらに表現例をページ上部に、単語リストを下部に配置することで、覚えやすく復習しやすい構成になっています。見出し語は必要最小限に絞り込みながらも、異なる意味や品詞ごとの用例までしっかり掲載しておりますので、細かな知識の取りこぼしありません。とことんの中率を追求した本書が、英検準 1 級合格へ最短ルートで導きます。

「放射線」のことが一冊でまるごとわかる

●津野 隼人 ●A5 並製 ●本体 1,800 円
●978-4-86064-808-4

健康診断などで行われている検査の一つに、レントゲン撮影があります。実はこの検査では、X 線という放射線を使って体の中を撮影しています。「レントゲン」とは X 線を発見した人の名前で、この検査は正しくは「X 線撮影」といいます。放射線と聞いて、がんの放射線治療を思い浮かべる人もいれば、原発事故を思い出す人もいるでしょう。私たちにとって身近な存在でありながら、「放射線とは何か」「放射線と放射能は何が違うのか」と聞かれると、意外と説明できないものです。本書では、放射線の基本的な仕組みから、「ベクレル」「グレイ」「シーベルト」といった単位の意味、放射線による人体への影響、医療を中心とした様々な分野での利用まで分かりやすく解説します。放射線を正しく理解するための基礎知識が身につく一冊です。

【音声 DL 付】ひとりで学べる韓国語 基礎文法をひとつおとり

●イ・ジョンジュ ●A5 並製 ●本体 2,000 円
●978-4-86064-840-4

韓国語を基礎からしっかり身につけたい人のための韓国語入門書。ハングルの読み方・発音から、初級～中級レベルで必要となる文法までを「ひとつ」で体系的に学べる構成です。イラストを多く使った親しみやすい紙面に加え、練習問題も豊富でゲーム感覚で取り組めるので、楽しく学習を効率よく進められます。旅行や日常生活、推し活ですぐに役立つ表現も充実しているだけでなく、「読む・聞く・話す」をバランスよく伸ばし、基礎固めから中級へのステップアップまで支える一冊です。

山から学ぶ地形学

●苅谷 愛彦 ●A5 並製 ●本体 1,800 円
●978-4-86064-844-2

日本の国土の 7 割以上は山地です。日本列島は山でできているといっても過言ではありません。山の成り立ちには、プレート運動や氷河期の気候、地震や火山活動、そして様々な侵食作用などが深く関わっています。これらはいわば地球上の地形をつくる主要な要素でもあります。本書は、「山」という視点から、地形の成り立ちについて体系的にわかりやすく解説した一冊です。地球の内部と外部から働く「営力」の説明からはじめて、断層、火山地形、氷河地形、河川地形、カルスト地形、差別剝削地形、崩壊地形などを、地球環境変動も含めて扱います。現地調査に足を運ぶ著者自身が撮影したカラー写真も豊富に収録しています。登山をきっかけに山の地形に興味を持った方から、地形学を学びたい初心者にもおすすめです。

ワキヤマ (タ)

リンガラ語の浅瀬にて

「リンガラ語」を学びはじめて、5 年ほどになります。きっかけは、アフリカの言葉に興味を持つ面白い先輩たちのグループに入れてもらったことでした。レベルは常に「超低空飛行」。上達する気配はまったくありません。毎回、習ったことをすべて忘れて現れる私たちを前に、先生であるコンゴ民主共和国出身の友人は「なんで?!」という顔で頭を抱え、「Moto pasi (頭痛い)」と言います。勉強しようと意気込んだ日もありました。仲間が英・仏の辞書を買って「ジャーン」と見せれば、私も負けじと「研究」という名目で手に入れたテキストを見せびらかします。そこから三度の飯も忘れて勉強に励んだ——なんてことは、もちろん起こりません。私たちは今も足首を越えないほどの浅瀬にいて、「Sango nini (ご機嫌いかが?)」から始めています。リンガラ語は、コンゴ民主共和国やコンゴ共和国などで使われている言葉です。交易などのために発達した地域公用語で 1000 万人以上の話者がいるといわれます。大雑把に言えば、ローマ字のように書けば伝わり、発音も日本人に比較的なじみやすいと感じます。日本語と違っていてもおもしろいのは、

「ン」から始まる単語が多いこと。初めて知った時は「しりとりで最強になれる!」と感動しました。話し言葉として広がったためか、時々表記揺れを目撃します。英仏二つの辞書で「猫」の綴りが違ったときはズッコケました。でも、「どちらが正しいか」悩むより、「どっちもあるのかも」と思える。そんな懐の広さと奥深さを感じる言葉です。いいところは他にもあります。何より在日コンゴ人にめちゃくちゃウケる! 仲間の一人は「コンゴ人に褒められたい」という一心でリンガラ語の歌まで覚えていました。気持ちはよくわかります。私もリンガラ語の歌が流れようものなら「今 nzoto (体) って言ったよね?」「mbwa (犬) って聞こえなかった?」と、雀の涙より少ない知識を披露するウザい学習者に变身します。そんなふうに、足先だけ水につけたまま時間だけが過ぎました。でも水に触れ続けていると、ときどき思いもよらないことがコンゴ川のほうからやってきます。歴史や文化、人の背景……知らないことばかりで毎回驚愕しています。蚊は ngungi、家は ndako、サッカーは ndembo…。今の私は、しりとりで負ける気がしません。

ハロウィン×語学書



フェアのすすめ

今回は、近年高まっているホラー人気と組み合わせた、ハロウィンシーズンにおすすめの語学書フェアをご提案します! 「ドラキュラ」など、名前は知っていても意外と詳しく知らない名作の原典や、恐怖をフックに楽しく学べる文法書・単語帳など、ドキドキを楽しみながら英語を学べる注目のラインナップを揃えました。エンタメ感あふれる展開で、普段語学コーナーに立ち寄らない読者の目も惹きつけられると思います。秋の棚に新しい風を吹き込み、幅広い学習者層へアピールするための一助になれば幸いです。



※すべて本体価格です。

意味がわかると怖い話



イミコワ英語 意味がわかると怖い話 で学べる英文法

●9784053058409
●Gakken ●1500 円
●文法学習 / 初・中級

短い日常文の裏に隠されたサイコな恐怖。解説・文法サポートが手厚い。

ゾンビ



ゾンビ英単語

●9784424544012
●増進堂・受験研究社
●1800 円
●単語帳 / 初・中級

映画のような極限サバイバルストーリーを追いながら学ぶ異色の単語帳。

都市伝説



英語でソクソクする ちょっと怖い話

●9784757424609
●アルク ●1400 円
●リーディング / 中級

「スレンダーマン」や「口裂け女」など海外と日本のさまざまな都市伝説から英語特有の不気味な表現が学べる。※品切れの場合がございます。ご参考までにご覧ください。

日本怪談



NHK Enjoy Simple English Readers 小泉八雲が愛した 日本の怪談

●9784142134366
●NHK 出版 ●1400 円
●多読 / 初級

「雪女」や「耳なし芳一」などの日本の民話、怪談・奇談が満載。語彙制限がありスラスラ読める。NHK の聞き取りやすい音声つき。

怪談／ゴシック・ホラー

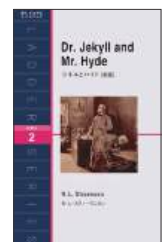


英語力が憑く 怪談・ゴシック文学の 世界 [音声DL付]

●9784860648312
●ベレ出版 ●2000 円
●精読・教養 / 中・上級

「ドラキュラ」や「フランケンシュタイン」など不朽の名作から「恐怖」の英語表現とニュアンスを深掘り。教養としても楽しめる精読書。

心理サスペンス

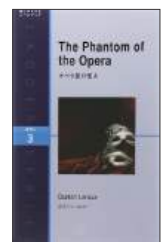


Dr. Jekyll and Mr. Hyde ジキルとハイド [新版]

●9784794602824
●IBC パブリッシング
(ラダーシリーズ L2) ●900 円
●多読 / Level 2
(使用語彙 1300 語)

霧のロンドンを舞台に描かれる、人間の二面性と狂気。二重人格の代名詞となった不朽の心理サスペンス。

ゴシック・サスペンスホラー



The Phantom of the Opera オペラ座の怪人

●9784794603234
●IBC パブリッシング
(ラダーシリーズ L3) ●950 円
●多読 / Level 3 (1600 語)

パリ・オペラ座の地下に潜む怪人の切なくも恐ろしい愛憎劇。有名ストーリーをやさしい英語で一気読破。

心理サスペンス

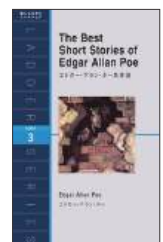


And Then There Were None そして誰もいなくなった

●9784794602909
●IBC パブリッシング
(ラダーシリーズ L4) ●950 円
●多読 / Level 4 (2000 語)

孤島に集められた 10 人が童謡になぞらえて次々と殺されていく不朽の名作心理サスペンス。

ゴシック・怪奇ホラー



The Best Short Stories of Edgar Allan Poe エドガー・アラン・ポー名作選

●9784794605764
●IBC パブリッシング
(ラダーシリーズ L3) ●900 円
●多読 / Level 3 (1600 語)

酒乱で黒猫を殺した男が不気味な猫に追い詰められていく異常心理を描いた『黒猫』をはじめ、怪奇・推理の原点となる作品が楽しめる。

心理サスペンス



MAN FROM THE SOUTH 南からきた男、ほか ロ アルド・ダール短編集

●9784862280947
●青灯社 ●1200 円
●多読 / 中級

ペーパーバック。おぼけではなく人間の悪意や狂気が怖い、見事などんでん返し劇。詳細な注釈があるので辞書いらず。